賛成多数で議決した議案（表決が分かれた議案）

議案番号	件　　名
議案第　2号	平成25年度鈴鹿市一般会計予算
議案第23号	財産の取得について
議案第30号	鈴鹿市職員退職手当支給条例等の一部改正について

賛成少数で不採択の請願

請願番号	件　　名
請願第　1号	年金2.5％の削減の中止を求める請願書

表決が分かれた議案及び請願に対する各議員別の賛否状況（賛成：○　反対：×　棄権：△）

会派名（※）	あくてぃぶ21								すずか倶楽部				公明党			緑風会			リベラル			市民			共産		政友		開政		無	無
議員名	竹口眞睦	野間芳実	青木啓文	森喜代造	伊藤健司	宮木健	森雅之	泊り育美	後藤光雄	南条雄士	中西大輔	鈴木純	池上茂樹	森しず子	藤浪清司	薮田啓介	山口善之	宮本正一	市川哲夫	水谷進	大窪博	中村浩	大西克美	太田龍三	石田秀三	森川ヤスエ	大杉吉包	今井俊郎	板倉操	森田英治	原田勝二	矢野仁志
議案第　2号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	—
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	—
請願第　1号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	—

※会派名は、リベラルはリベラル鈴鹿、市民は市民クラブ、共産は日本共産党（諸派）、政友は政友会（諸派）、開政は開政クラブ（諸派）、無は無所属です。※議長 矢野仁志は採決に加わりません。

主な討論　※討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。（討論順）

石田 秀三議員（諸派 日本共産党）

議案第２号と議案第30号に反対。国家公務員の退職手当を引き下げることに準じて地方自治体でも引き下げるようにとの押しつけを受け入れる内容であり賛成できない。公務員の待遇を引き下げても景気はよくならず、国民的な生活水準への悪影響となる。議案第25号の補正予算に賛成。必要な事業の追加や前倒しである。

森 雅之議員（あくてぃぶ21）

全議案に賛成。議案第２号について、平田野中学校、第二学校給食センター施設整備着工等、子どもたちの教育を受ける環境を改善することに賛同する。今回の予算は市長の施政方針にあった「10年後、20年後を見据えた長期的な見地に立って、何を優先的に取り組むか」の考えが反映された予算であり期待する。

南条 雄士議員（すずか倶楽部）

議案第２号と第23号に反対。河川の汚濁源となるという認識の上でのEM活性液配布事業に反対。地球温暖化防止費のうち効果を説明できないものは環境部予算に不適。教育的要素に乏しい中学校完全給食関連予算に反対。弁当制こそが教育であり、食育や自助の先進事例である。20年で約50億円の建設費と維持費は教育水準向上のために費やすべきである。

板倉 操議員（諸派 開政クラブ）

全議案に賛成。議案第２号について、行政が国と地方自治体である鈴鹿市との関係、三重県と鈴鹿市との関係の中で平成25年度の予算をとらえ市民生活の維持向上に積極的に財政出動を考えていることは評価できる。低年齢児保育事業に対する県の補助金削減を受けても、担当部の考え方や対処法は高く評価できる。

次ページにも記載があります。